

土佐塾 黒沢尻北に完敗

全国高校ラグビー 5-43 前半失点響く

第94回全国高校ラグビー大会第2日は28日、東大阪市の花園ラグビー場で1回戦の残り1試合が行われ、本県代表の土佐塾は黒沢尻北(岩手)に5-43で敗れた。土佐塾は試合開始から13分までに3トライを奪われる苦しい展開。0-38で迎えた後半、TB高橋のトラが、5-43で振り切られ、5点を返し、守りもた。ほかでは石見智翠館(島根)、大分舞鶴、佐賀工、高岡第一(富山)、

▽1回戦
 黒沢尻北 43 5-5 5 (高知(岩手))
 土佐塾 0000 1005 5
 TGP前 TGP後計
 黒沢尻北 64038 1005 43

▽TB 武田、松原
 山下村中優階元宏、下山橋崎
 山高吉田谷新松竹山竹半高金
 【土佐塾】W
 【黒沢尻北】F
 森明地優、森野、中橋、藤澤、池、橋田、橋田、木、大菊、菊高、高波、高大小、石、佐、育、梅、▽TB 稲垣、手塚
 △交代(黒)尾野(波田野)佐々木、木、高橋、柴田(大沢)平藤(大森)千葉(菊地)八重樫(小田中)阿部(斉藤)

【1回戦 土佐塾-黒沢尻北】後半、懸命に攻め込む土佐塾のFW山下(中央)＝花園ラグビー場、井上太郎撮影



課題と自信 来年につなげ

力を出し切れなかったのか、また全国に通用する力がなかったのか。例年以上に充実していると言われてきた土佐塾だが、1998年以降の初戦突破はまたしてもお預けとなった。高校日本代表候補のFB金崎ら、バックス陣の前評判は高かった。しかし、自慢の走力を発揮する場面がつかれない。前半はほとんど自陣での戦いを強いられ、0-38。「もう少しやれると思っただけ…」との感想を持ったのは選手や西村監督だけではないだろう。チャンスを得たと思ったら、反則でボールを失う。相手と比べて明らかに小柄なFW陣は、スクラムではどこごとく押し負けた。相手の攻めをいかに止めるかがテーマだったが、序盤の十数分で勝負が決ってしまった。ただ、後半の戦いは見るべきものもあった。キックを多用して前に出る攻めに切り替えると、チャンスも生まれ始めた。10分、左中間のゴール前5メートルまで攻め、ラックから右に展開。パスを受けた高橋が右隅に貴重な1トライを決めた。高橋は「周りに(相手選手が)5、6人いたが、ここは押し切ただけだと思っただけ。ライン目掛けて夢中で走った」と振り返る。主将の金崎は「あれは土佐塾らしいプレーだった。高橋は2年生なので、来年はやってくれるはず」と思いを託した。序盤、相手の攻めを止められなかった守り。後半、粘り強く奪った1トライ。課題と自信を必ず来年以降につなげていきたい。(井上太郎)

報徳学園(兵庫)、秋田ドで前回覇者の東海大仰中央、コサ(沖縄)など星(大阪第2)や東福が2回戦に進出した。岡、国学院栃木などが登30日の第3日はAシー場所。